

Soba Choko Art



[大賞] 佐野圭亮《“Reborn”》

手のひらで昇華するアート

第7回 そば^{''}猪口アート公募展

2019年 3月7日(木) ▶ 3月24日(日)

※会期中展示入れ替えあり

会場 = 白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M
〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

開館時間 = 9:00~17:00

休館日 = 月曜日

観覧料 = 一般個人 200円、高校生以下無料
(山形若手アーティスト展と共通)

主催 = 白鷹町文化交流センター
そば猪口アート展実行委員会
安曇野高橋節郎記念美術館

協力 = 瀬戸市新世紀工芸館
平成記念美術館ギャラリー
信州安曇野「新そばと食の感謝祭」実行委員会

お問合せ = 白鷹町文化交流センター TEL.0238-85-9071

同時開催

山形若手アーティスト展 vol.9

松崎綾子「木をみて森をおもう」

白鷹町文化交流センターでは山形在住または出身の若手アーティストの展覧会を開催しております。第9回目の今回は、東北芸術工科大学修了後、2016年から長井市の地域おこし協力隊として活動している日本画家 松崎綾子の展覧会です。今作品展は、関東圏出身の彼女が地方都市に移り住み、協力隊員として過ごす中で感じたことや、地方都市で作家が作品をつくる意義に向き合った成果展でもあります。旧工場のリノベーションや、草鞋・箆などの伝統産業の継承など、平面作品の制作に限らず様々な活動を通じて大きく変化した彼女の作品をどうぞご覧ください。

第7回 そば猪口 アート 公募展

本公募展は、長野県安曇野市の「高橋節郎記念美術館」と「そば猪口アート展実行委員会(安曇野市、東京藝術大学、安曇野高橋節郎記念館友の会、現代工芸美術家協会長野会、安曇野スタイルネットワーク)」が主催して、世界から応募を募る公募展です。昨年に引き続き、巡回展の第5回目として、白鷹町文化交流センターで開催するものです。

今年は、33都道府県と海外から、276点の応募作品が寄せられました。応募者の年齢も20代から80代までと幅広く、出品作のレベルも年々上がっています。

その中から造形性、表現力、感性、使いやすさなど様々な視点から厳選された126点が入選、内12点が受賞となりました。

約半数を3月15日(金)まで。3月16日(土)から残りの半数を入れ替え展示いたします。個性あふれる「そば猪口アート」をどうぞお楽しみください。



[大賞] 佐野 圭亮《"Reborn"》



[準大賞] 白井 渚《漂霧・朝・夜》



[優秀賞] 大江 絵《葉器》



[優秀賞] 保木 詩衣吏《雪渓》



[特別賞(白鷹町文化交流センター あゆーむ)]
石村 有弓《蒔器 螺鈿 そば猪口「てふてふ」》



[特別賞(平成記念美術館ギャラリー)]
塩井 隆晴《私69才と妻66才の夫婦そば猪口》



[特別賞(瀬戸市新世紀工芸館)]
鈴木 由美子《光散乱》



[審査員賞] 泉谷 郁美《栃杮そば猪口"月影"》



[審査員賞] 金 知瑞《Tropea Sunset》



[審査員賞] 黒田 明日美《みなも》



[審査員賞] 黒田 昌吾《溜塗そば猪口Ⅰ・Ⅱ》



[審査員賞] サイツグハ《春めく》

同時開催

山形若手アーティスト展 vol.9

松崎綾子

「木をみて森をおもう」

日本画家 松崎綾子の展覧会です。

プロフィール

1983年生まれ。東北芸術工科大学 日本画コース卒業。同大学大学院 修士課程修了。2016年より長井市 地域おこし協力隊としても活躍。

主催 白鷹町文化交流センター

◎関連イベント | スペシャルトーク

『地方で絵を描く』

3/9 (土) 13:30~ ※当日の観覧券が必要

- ・徳山拓一 (森美術館)
- ・榊田倫広 (東京国立近代美術館)
- ・三瀬夏之介 (作家、東北芸術工科大学)
- ・アメフラシ

(<http://lpameflurashi.wixsite.com/mysite-1>)

主催 LLPアメフラシ

協力 白鷹町文化交流センター

アクセス

白鷹町文化交流センターAYu:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分

[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

[お問合せ] 0238-85-9071

